



にしな

1995 10

No. 298

平成7年10月1日発行



保育所の子供たちが、ジャガイモ掘りを体験しました。
暑い陽射の中、『男爵芋』を手にした子供たちの笑顔はとても印象的でした。

川谷地区で収穫された“ジャガイモ”が、北海道のジャガイモ味と似ていて大好評です。

■ 村民のうごき	
男	8,998人 (+18)
女	8,867人 (+20)
人口・計	17,865人 (+38)
世帯数	4,833戸 (+6)
〔平成7年9月1日現在・（ ）内は前月比〕	

平成七年度村の重点事業の一つに平成四年度から進められてきました熊倉小学校の講堂建設工事（平成四年度から改築工事）が含まれています。

このほど、講堂建設の工事概要が決まりました。

西郷村立熊倉小学校講堂二級防音建設工事は、八月二十九日から平成八年三月二十八日までの工期で、建築面積一、五〇九・二七平方メートルの一部鉄骨、鉄筋コンクリート造り、総工費約三億九千七百七十万円が投じられ建設されることになっています。

当講堂の建設工事にあたっては、防衛庁の「防衛施設周

辺防音事業補助金」や文部省の「公立学校施設整備費補助金」が当てられます。

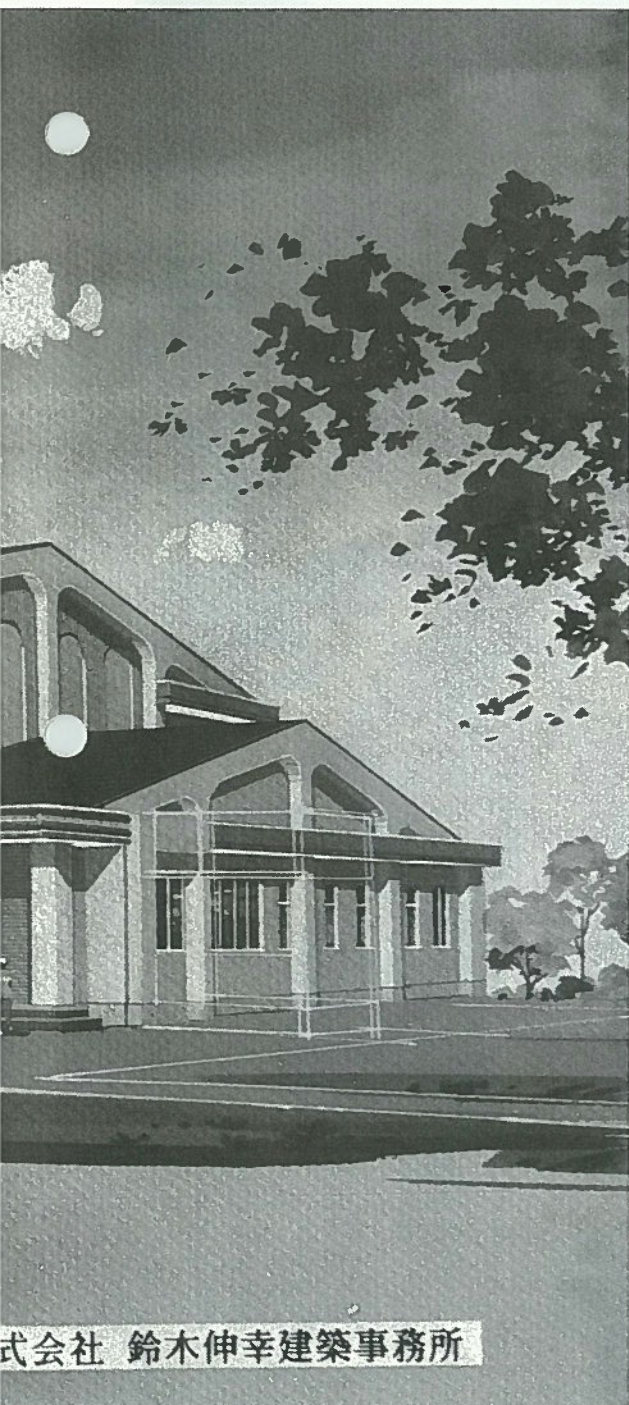
建設されるこの講堂は、防音装置が施されている他、学校施設開放時のために村内の小、中学校の施設では初めてミーティング室や、シャワー室が取付けられることになっています。

また、講堂の広さは、バスケットボールが一面、家庭用バレーボールのコートなら二面が取れる広さとなっており、小学校の児童たちも、早く講堂の中で駆け巡る日を楽しみにしています。

Main Contents

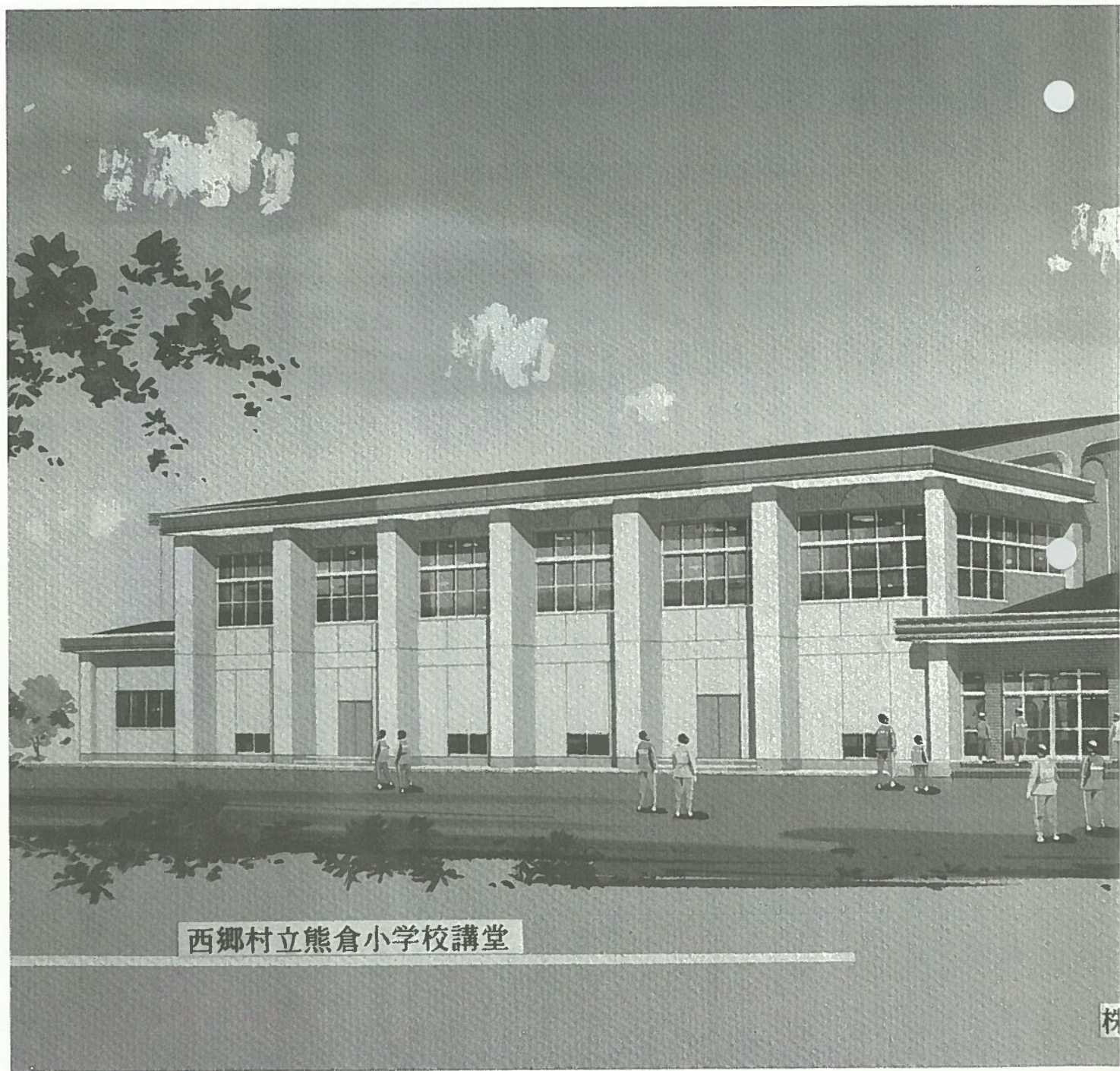
〈主な内容〉

- 熊倉小学校の「講堂」建設いよいよ着工…… 2～3
- 「広大陸」中国を見聞 …………… 4～6
- 第2回少年の主張大会……………10
- 祝敬老会……………11



式会社 鈴木伸幸建築事務所

熊倉小学校の いよいよ着工



西郷村立熊倉小学校講堂

中学生海外派遣事業で深めた『友情』と『絆』！

『広大陸』中国を見聞



△薊県第一中学校との合同昼食会



△故宮太和殿において参加者全員で記念撮影

海外派遣研修を終えて

川谷中学校 水野 初美



が今でも忘れられません。いつも私と一緒にいて言葉は通じなくても手でいろいろなことを表して私に教えてくれました。このとき私は、言葉は通じなくても動作で通じるのだと改めて実感しました。

交流会の時、生徒の人達や先生の行動の仕草の一つ一つから、本当に私達を心から歓迎してくれているのだ、と感じられました。第一中学校の生徒の皆さんの踊りや歌のいろいろな出し物の中で、日本の昔からある歌「赤とんぼ」を日本語で歌ってくれたのはとても驚きました。

屋外での綱引きでは、日中両国の生徒が混合で力いっぱい綱引きをやりました。勝ち負けなど関係なく、みんな楽しそうだったのでよかったと思います。次に学校案内を

してくれました。理科室や普通教室、コンピューターが置いてある場所などいろいろ見学させてもらいました。自分の学校と比べると薊県第一中学校の校舎は五階ぐらいあって教室はとても広く、大きな学校でした。たくさんの方の交流の出来事のうち特に心に強く感じられることがありました。それは薊県第一中学校の生徒の皆さんの堂々とした態度と積極的な行動です。初めて会う人に、それも話す言葉も違う外国の人に、優しくほほ笑みかけ、一緒に手をつないでいろいろな場所を案内してくれたら、中国の有名な建物について説明してくれたり、積極的に接してくれました。私は薊県第一中学校の生徒の皆さんの積極的な態度に感心しました。そして、私も知らない人の前でもこんなふうに積極的に行動することを見習いたい、と思いました。

夜のキャンプファイヤーでは日中両国のみんなが一つの大きな輪になり、ゲームやダンスを行いました。知らない中国のダンスも私と一緒にい

た一人の女の子が優しく教えてくれました。とても楽しい一日だったので時間が短く感じられ、もっと一緒にいろいろなことをしたい、と思いました。たった一日だけの交流でこんなに第一中学校のみんなと仲良くなれたのが不思議なくらいです。私と一緒にいた女の子「張悦」さん。この夜のキャンプファイヤーを最後にお別れとなりましたが、中国と日本、遠く離れてしまったけれど、一生忘れられない、そんな友達です。

この五日間の研修を通して、中国の四千年という長い歴史の中で、町の人々の生活の様子や昔のいろいろな建造物のことなど、普段では学べな

いたくさんのことを学ぶことができましたと思います。また住む国も、話す言葉も生活習慣も違う薊県第一中学校の生徒の皆さんとの交流を通して改めて友情の大切さが分かりました。中国に自分の友達がいるということは、とても素晴らしいことだと思います。薊県第一中学校の生徒の皆さんからこの研修で学んできたこと

を、普段の生活でも生かしていきたいと思います。全国にいたくさんの私と同じ中学生の中で、とても小さく感じられていた自分が、この研修で、成長できたのではないかと思います。

国際化が進む今、中国に行つてたくさんのことを学習し、薊県第一中学校の皆さんや私と一緒にいてくれた一人の女の子「張悦」さんにも出会うことができた本当によかったと思います。今年の夏休みは、いつもとは違う特別な思い出ができた貴重な夏休みになりました。

すばらしい感動をありがとう

西郷第一中学校 田辺 鮎美



一九九五年、夏。八月十八日、午前三時二十分頃、先生方や文化センターの方、父母の皆さんに見送られ、私達二

十六名は夢と希望と期待を胸に、元気にバスに乗り西郷の後になりました。

成田空港発十時十分、初めて乗る飛行機とあってとても緊張しました。十三時二十五分北京空港に到着しました。

その日は薊県第一中学校の校長先生や薊県の方々を迎えられ、心あたたまるメッセージをいただき、とても感激しました。歓迎会の言葉の中で感じたことがありました。それはいつも最初の挨拶に出てくる言葉で、尊敬という言葉です。常に他人を尊敬するという心を持ち、他人を大切にしている国だと思いました。

二日目、いよいよ待ちかねていた薊県第一中学校との交流会です。私がバスから下りたたん、私のパートナーになる中国人の女の子が「ニーハオ」と声をかけてくれました。彼女の名前は「付旭娟」です。最初はとても驚いて、日本で覚えてきた中国語が思ったより話せず、つい日本語が出て来てしまい戸惑うことがありました。生の中国語を目の前にして、会話を楽しむ

ことは困難でした。

交流会では伝統ある民族衣装で踊ったり、歌を聞かせてくれました。中でも「赤とんぼ」を日本語で歌ってくれたときは、とても感激し、嬉しさで胸があふくなりました。

私達はハッピーを着て「会津磐梯山」を踊り、同じく歌をうたいました。最後に薊県の中学生在「蛍の光」を歌いながら、それぞれのパートナーに手を差し伸べ、日中両国の生徒が手をつなぎながら全員で「蛍の光」を合唱しました。その時の手の温もりは、一生忘れられないと思います。スポーツ交流では、卓球と綱引きを楽しみました。私は代表として薊県の中学生とダブルスを組み、試合をしました。最初は負けてしまいましたが、最後には追い込みを見せ、逆転勝利を収め、とても嬉しかったです。綱引きでは、日中混合で試合しましたが、私達のチームは負けてしまい残念な思いをしました。

薊県第一中学校の校舎は、コンクリートでできていました。生徒数一、八三六名、教職

員二〇五名で、人数の多いことには想像を絶するものがありました。また、国の教育方針を徹底して学んでいると聞きました。午後は一緒にバスに乗り、西太后の墓地である「清東陵」を見学の後、宿泊地である黄崖関で、遠くに見える万里の長城を背景に食事を楽しみました。交流会も終わりに近づき、最後にキャンプファイヤーをしました。中国のいろいろなゲームをしては盛り上がり、罰ゲームでは笑いが絶えませんでした。そしてとうとうお別れの時間が来てしまいました。私は出そうな涙をおさえながら、歯を食いしばって笑顔でお別れをしました。最後に、中国語で「再見（また会う日まで）」と言いました。お世話になった先生方や友達の皆さんに向かって、力いっぱい手を振りました。この一日で、ともに過ごした心の交流を深めるとともに、忘れがたい思い出をつくる事ができました。また、日本との違いを学ぶことができ、人と人とのふれ合いのよろこびを強く感じました。

中国の国を見て来て、日本の国は物が豊富な国であることを感じるとともに、改めて物を大切にするを考えさせられました。私達はこれを機会に日本を変えて行かなければならないと思いました。

中学生海外派遣に参加して

西郷第二中学校 藤田 諭



八月十八日、僕は西郷村中学生海外派遣生の一員として、中国へ五日間の旅に出ました。初めての海外研修なので、最初は緊張と不安でいっぱいでしたが、飛行機に乗ってしまふと、今度は、中国への期待感から四時間もの空の旅も、あつと言う間に感じられました。

北京空港からバスに乗り、薊県に向かって出発しました。バスの中から見える中国の景色は、教科書に載っていたと

おりで北京の近郊から薊県に着くまで、とうもろこし畑が広がっていました。ところどころで見ることでできる農村の家は、レンガ造りで日本の家とは違った感じでした。

薊県に到着すると、歓迎夕食会がありました。ここで、初めて本場の中国料理を食べました。ご飯は日本よりもかたく、料理は油っぽいものばかり次々と出てきました。日本の中華料理と味は違うし、量もとても多いので、食べきれませんでした。中国の五日間の中で、一番不便に感じたことは、水道の水が飲めないことです。常にミネラルウォーターを持っていなければなりません。今まで何げなく飲んでいた水が、いかに大切なものかということを知りました。

国語で、積極的に話しかけてきます。英語で少しだけ話せました。話が通じたときは、英語を勉強していたことが役に立ったとうれしく思いました。

交流会は、代表のあいさつの後で、お互いに歌や踊りを披露しました。僕は、「北国の春」と「夢の世界を」の二曲を歌い、「会津磐梯山」を踊りました。練習の時より本番では大きな声で歌ったり、元気に踊ることができました。中国の出し物は、踊りです。服装は、いかにも中国人らしく、派手な民族衣装ですばらしい踊りを見せてくれました。その後で卓球、綱引きをして楽しいひと時を過ごしました。薊県の中学生は、僕のパートナーに限らず誰もが何事にも一生懸命です。また、食事の時など食器を運んでくれたり、ジュースをついでくれたり、よく気が付きます。この事について、大変感心しました。彼らの行動から、思いやりという事を学びました。中国を訪れて、万里の長城や天安門広場など、中国で有

数の史跡名所を見ることができました。万里の長城は、僕がもっとも行きたかった場所の一つで、とても興味がありました。学校の資料集で見た写真よりも、実際にはものすごく高く、その雄大さに感動しました。延々と続く階段を上るのは、とてもつらかったです。今では、階段を上るたびに万里の長城を思い出します。

この五日間の研修を体験して、いろいろなことを学ぶことができました。水の大切さ、交流を通しての人に対する思いやり、外国と日本の生活との違い、一緒に研修を受けた仲間との連帯感、友情を深めたことなどたくさんありました。

最後に、中学生海外派遣に参加でき、とてもよかったと思います。これからは、この体験を毎日の生活に生かして行きたいと思っています。

『英会話教室』 参加者募集

ホテルサンルート研修生（モリタナ大学大学院生）の外人講師による「生の会話」が学べるやさしい英会話教室です。奮ってご参加ください。

◇主催 ホテルサンルート白河
後援 白河市国際交流協会

◇日時 十一月八日（日）／平成
八年一月三十一日（水）

毎週水曜日（計十二回）
午後六時～七時

◇場所 ホテルサンルート白河

◇対象 中学生以上の方

◇定員 五十人（定員になり次第締め切らせて戴きます。）

◇テキスト代

四、八〇〇円（申し込み時納入）

◇申込締切日

十月二十日（金）

◇申込先

ホテルサンルート白河

◇問い合わせは、同ホテル

☎二四一〇〇一まで。

第31回全国身体障害者スポーツ大会開催、

うつくしまふくしま大会

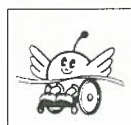
会期・開会式 平成7年10月28日(土)

閉会式 平成7年10月29日(日)

あづま総合運動公園陸上競技場



＜競技種目＞



陸上競技

あづま総合運動公園陸上競技場



水泳

あづま総合運動公園総合体育館



アーチェリー

あづま総合運動公園県営あづま球場



卓球

あづま総合運動公園総合体育館



車椅子バスケットボール

あづま総合運動公園総合体育館



グランドソフトボール

十六沼公園スポーツ広場



バレーボール

福島市国体記念体育館

本村からも、個人競技(25mバタフライ・50m背泳ぎ)、バレーボール(男子)選手として出場します。

この大会は、昭和39年の東京オリンピックの直後に開催された国際身体障害者スポーツ大会(東京パラリンピック)第1部、第2部(国内大会)を契機として、昭和40年の岐阜大会が第1回となり、毎年国民体育大会秋季大会を開催する都道府県において開催されてきております。

今大会は、身体障害者が単に記録を競うだけでなく、スポーツを通じて機能の回復と体力の維持増強を図り、自らの障害を克服して積極的に社会参加できる道を広げ、勇気と希望をもってたくましく生きていく能力を育てるとともに社会の身体障害者に対する理解と認識を深めることを目的に開催されます。

村内で、第31回全国身体障害者スポーツ大会の

「採火式」と「炬火リレー」が行われます。

沿道での声援を！

国体開催県で毎年実施している大会が、本年は、福島県で開催されます。

そのため、大会に係る炬火リレーが「太陽の国」グランドから「三和部品(株)白河工場」駐車場間で実施されます。

10月24日(火)

予定時間	午前 9時50分	採火式・出発式	「太陽の国グランド」
	10時20分	リレー隊出発	
	10時32分	第1中継地点到着	「管理センター入口」
	10時35分	〃 出発	
	10時46分	第2中継地点到着	「三和部品(株)駐車場」
	10時50分	福島市へ出発	

8月18～20日

炎天下、90市町村が参加して 開催された『ビッグフェア』。

今年も、県内ふるさと産品を一堂に集めた「おもしろ夢ランド'95ふくしまビッグフェア」が、福島市四季の里で開かれ当村では、ヤマメ・イワナの塩焼き、ポテトまんじゅう、じゃがバターを即売と併せ、西郷村のPRに大いに力を入れました。

例年は、福島競馬場で開催されていましたが、今回改修工事と重なったこともあり四季の里での開催となりました。会場は連日うだるような暑さの中、多数の家族連れで大にぎわいでした。



8月23日

「追原そば」が、NHKテレビで放映 されました。

このほど追原そば生産組合（佐藤善吉代表）とそば処「追原庵」を、NHK郡山支局が取材に訪れました。そば生産から加工、販売までを行っている当組合は全国的に珍しいということで、番組『イブニングネットワーク福島』で放映され、追原そばの村内外PRに一役かかっていました。取材の日は、特に夏休み中とあって子供連れで追原庵を訪れる人を多く見かけました。



8月30日

「寝たきりにしない。」看護法の実技研修 が行われました。

平成7年度赤十字奉仕団（佐藤信委員長）の家庭看護法講習会が、下羽太集落センターで開催され地区の団員80人が受講しました。この看護研修は、奉仕団活動の一環として毎年村内各地区を巡回し開催しております。“高齢化”の進む日本社会生活の中で看護の基本的心得や看護方法を、日本赤十字社の家庭看護教師・横山浜子先生から時折笑いを交えてのわかりやすい講義に、受講者は熱心にノートを取るなどしていました。





9月3日

初めての囲碁大会で井上伸2段が優勝！

第1回地域・太陽の国交流囲碁大会が太陽の国厚生センターで開かれ、参加者32人が真剣な表情で対局、盤上に熱戦が展開されました。今大会は、地域の皆さんと太陽の国職員との交流を図り、親睦を深めることにより地域福祉の向上に貢献出来る体制の基礎づくりと太陽の国を一層理解していただくことを目的に開催されたものです。

優勝 井上 伸(2段) 第4位 石井昭二(1級)
準優勝 小林三四男(1級) 第5位 国分順一(初段)
第3位 今 元治(4段) (敬称略)

9月4日

デーサービスセンターでミニ敬老会が行われました。

今年も一足早くデーサービスセンターでの敬老会が、行われました。敬老週間に合わせ毎年実施しているもので、今年で4回目の開催。9月4日～8日までの5日間、村内の3保育所や、西郷ふるさと踊り保存会が当センターやすらぎの家を訪れて歌や踊りを披露し、お年寄りの皆さんを楽しませてくれました。



9月9日

村内一人暮らしのお年寄りに、『心温まる手料理』をプレゼント。

今年で3年目のボランティア養成講座。当講座では、一人暮らしの老人宅を訪問し、手作りの昼食と一緒に食べながらの交流会。今年も村内4人のお年寄り宅で行いました。村ボランティアの会員(橋場八代子会長ら12人)が作った「赤飯」や「煮物」などの心温まる手料理を囲んでの会食に、お年寄りの皆さんも喜んで味わっていました。

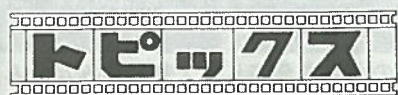
9月14日

県下小・中学校音楽祭に西郷二中が出場しました。

いわき市民会館で開催された第49回県下小・中学校音楽祭第1部合唱の部に、白河地区予選(8/30)で金賞を獲得した西郷第二中学校が出場し、その美しいハーモニーは多くの聴衆を魅了しました。



〈少年の主張大会時撮影〉



第2回少年の主張大会

人見寛子さん(小学生の部)・佐藤友香さん(中学生の部)が『最優秀賞』に輝きました。

たくさんの夢や希望を抱いている小中学生が、日常生活で感じ、あるいは考えていることをまとめ、主張することで広く社会に目を向ける機会を提供し、大人に青少年への理解を高めることをねらいとした「第2回少年の主張大会」が9月2日、村青少年育成村民会議主催で行われました。大会では中学生7人と小学生7人が堂々と意見を発表、来場した村民、生徒、村内教育関係者らが立派な発表に大きな拍手を送っていました。

審査の結果、最優秀賞には小学生の部では、「地球号が危ない」をテーマに便利な生活で生じた地球の危機、自然を守るための努力をし、住み良い村、地球にしていきたいを発表した米小学校六年の人見寛子さん。中学生の部では、言葉で傷つけられた私、目の不自由な人への思いやりのない場面を見せつけられ、言葉の大事さを痛感したと語った西郷一中三年の佐藤友香さんの二人が選ばれました。

なお、中学生の部で選ばれた最優秀・優秀賞者の三人が、福島県大会の出場候補者として推薦されました。

最優秀賞以外の入賞者は、次のとおりです。

◇小学生の部
▽優秀賞Ⅱ 独古洋平(川谷小)
近藤栄美(熊倉小)
▽優良賞Ⅱ 大越みなみ(熊倉小)
有賀美佳、佐々木香織(小田倉小) 和知恵里(羽太小)
◇中学生の部
▽優秀賞Ⅱ 沼田登志樹、横田健一郎(西郷二中)
▽優良賞Ⅱ 晒名聡子(川谷中)
村井美咲子(西郷二中) 森裕美子、仁平雅子(西郷一中)



▲最優秀賞で表彰される米小・人見寛子さん



▲堂々の発表で最優秀賞に選ばれた西一中の佐藤友香さん



▲少年の主張を発表した入賞者のみなさん



にぎやかに歌や踊りも

にぎやかに歌や踊りも

祝

敬

老

会

真心を込め
長寿を祝う

真心を込め
長寿を祝う

今年の敬老会は、米小学校体育館で開かれ七十歳以上の六百三十五人が出席しました。菊地村長のあいさつの後、県から敬老祝い金、村から敬老年金や記念品、金盃、純銀盃また、寿祝いの座布団などが贈られました。

席上金婚夫婦表彰も行われ近藤忠幸福島民報社白河支局長から、十九組を代表して山下・鈴木榮さん(79)ミツエさん(74)夫妻に表彰状と「おし

どり金メダル」が手渡されま
した。

式の後のアトラクション一
部では、村立保育所の子供
たちによるお遊戯、行寿・藤
美・貴美吉・芳泉会や西郷村
寿民謡会などによる踊りの披
露、第二部では祭木ばんによ
るお笑いショーや演歌歌手・
志摩幸子オンステージに、参
加者は楽しい一日を過ごして
いました。

式の後のアトラクション一

部では、村立保育所の子供たちによるお遊戯、行寿・藤美・貴美吉・芳泉会や西郷村寿民留会などによる踊りの披露

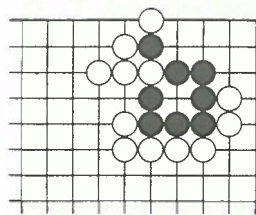
露、第二部では祭木ばんによるお笑いショーや演歌歌手・志摩幸子オンステージに、参加者は楽しい一日を過ごしていました。



▷ 楽しいこんな場面

△ 歌の上手に「やっぱりプロ」

有段を目指して



詰 碁

出題 九段 武宮正樹

● 黒先コウ・3手まで
ヒント…ツギ方に工夫を。
3分で2級、1分以内で有段者。



詰将棋

● ヒント……ヘタに攻めると逃げられます。

8分で1級、4分で三段。

解答は17ページ

【代表受領】

◆福島県敬老祝金〔県知事〕

◇西郷村敬老年金〔村長〕

◇七〇歳以上記念品〔村長〕

◇八〇歳金盃
〔村長〕

△ 90歳以上で記念品を受ける斎藤センさん（一の又）



△ 金婚表彰を受ける鈴木榮・ミツエさん夫婦（山下）

◇八五歳以上純銀盃〔村長〕

◆八八歳座布団〔社福協会長〕

◆九〇歳以上記念品〔村長〕

◆金婚夫婦表彰〔福島民報社〕



古文書紹介

(第二回)

『天保十年三月』

百姓心得の種

奥州白川領熊倉村

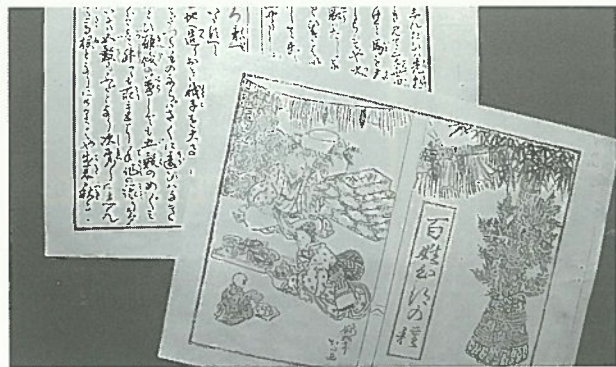
長左衛門述

昔が今に至るまで師匠の教へをそむく輩は、つい年たけて我身の友の交りに、祝儀婚礼年重ね酒宴座敷のある時は、一つに肩を双べても、うたい礼儀の道知らず、仁義知らねばかぶりのみ、じふしも知らぬ馬鹿うたい、歌短冊の読み書きに顔をあからめ恥ずかし、自然と其座をへり下り、物書く人の後より、理智も知らず詠めて遂、退屈の大あくび、後にはいびきの其上に寝言をかたりやかましや、あげくの果てにときやくして、客のたつのも知らずして亭主も残らず寝た後で、手足が冷へて目を覚まし、くらまぎれにぞ這いまわり、鍋や茶釜をけちらかし、流しのかたの水桶にめったむしやうの柄杓のみ、宵の恥走の礼もなくそろそろ我家へ立ち帰り、親や妻子寝ているを声高々と打おと

し、無理非道なる駄々を言い遂に家内を追出し、其身は其ままでのめりふし、きよろきよろ酒がさめければ女童に理づめられ、言訳なしの二日酔よろずの事がそのとおり理解知らねば何事も、一つと埒が明かざれば世上の人に見下げられ、一生肩をすぼめつつ、文字を書かざる輩は人半分にあらずれば是を能々聞きわけて、師匠の教へをそむかずしに手習学問致すべし、習はずとよき博奕をいつのひまにか見覚え忘るることは決てなし、誰れが師匠というもなし、天下一統御法度を皆面々に承知して、人の異見も言いながら、口は利口でしやうは馬鹿、その節馬鹿とは思はねど或る人々にすすめられ、貴様でなければちよぼいちは、さからぬならぬととり持たれどもあしきと思へども先面白さもおも

しろし、げすこんじょうのきたなきに取られた銭を恋しがり、出るたびたびに少しづつ銭をとったりとられたり、人の勝負のうしろからのぞいて見たりのんだり段々そのの席をあけ、こえこえと招かれて、何村誰と名のり出てつばやかしもと雪助にちかしくなるがあだとなり、ここで壺両又貳両あすこの日待ことの寺あまり負けばうぬが寺何時でも寺は土台なし、勘定合て銭足りず、腹立ちまぎれに貳の切に我こころで思うには、頼んだものをとるように悪事はうまくまいらねば、三の切には丸裸其身のはだかはよけれど、小若い者共誘いだし其親々に苦勞をかけ村役人の耳に入、こんどは勘弁成り難し、上の御下知のなき内にとがめを申付にけり。

歌に
叱らるる叱るも時の役目也恐
れても見よ恐れずは見ろ
博奕を初る節の潔き別るる時
のざまは見られん



△「百姓心得の種」

- 註1 (年たけて) 長ける、盛りがすぎる。
- 註2 (かぶり) その風にそまゐる、感化される
- 註3 (じふし) ことばや節
- 註4 (とぎやく) 吐逆、吐き出す
- 註5 (くらまぎれ) 暗紛れ、やみにまぎれること
- 註6 (しやう) 性、性質、性格、本性
- 註7 (ちよぼいち) 中国の賭事の一種
- 註8 (つぽ) や(かしもと)ばくちのつぽふりとばくち打ちの親分

「事故のない村」を願って、

小田倉分会立看板を設置

このほど、白河地区交通安全協会小田倉分会(長谷部修一 会長)では、昨年の二月三日以来村内での痛ましい交通事故死亡事故が発生していないことから、「死亡事故ゼロ」の記録更新を願って四号国道原中地内に、「西郷村めざそう死亡事故ゼロ、〇〇〇日」の立て看板を設置しました。

この立て看板は、縦三・六メートル横〇・九メートルの鉄骨造りで、両面に蛍光塗料で文字が書かれており夜間でも見えるため、ここを通過するドライバーに安全運転を呼びかける意味で、一層の効果があるものと期待されております。



△原中交通安全塔近くに建てられた看板

スポーツの窓

ソフトボールで

和やかに交流

西郷村商工会青年部主催の第十五回村職場職域ソフトボール大会が九月三日、米小学校、米多目的グラウンドで村内企業二十三社が参加し開かれました。

試合開始前に、ジャンケン大会が行われ二回も賞品を手にするラッキーな参加者もありました。

試合には各企業からの応援団も詰めかけ選手に盛んな声援を送っていました。

◆優勝

豊盛工業(株)新白河工場

◆準優勝

西郷村商店会

◆最高殊勲選手賞

本宮幸裕さん(豊盛工業) 優秀選手賞

真船行男さん(村商店会)

スポーツの秋を満喫

川谷小・中学校で

運動会

川谷小(星春夫校長・児童数八十六人)、中学校(大木成紀校長・生徒数四十三人)合同による運動会が去る九月三日同校校庭で開かれました。

地区民も積極的に協力参加「原田杯争奪雪割橋マラソン」や「川谷グルメ紀行」など楽しい競技に熱戦を繰り広げ地区民同士の親睦をも深めました。

以前から、川谷学区では小学校と中学校が一緒になって秋に運動会が行われています。



▲お年寄りも元気に飛入り参加!

『金澤杯』今年も西郷勢が

優勝!

〔第十二回金澤杯争奪県南中学校ソフトテニス大会〕

同大会は、男子が西郷二中、女子が西郷一中を会場に県南から男子(十三校)百十九チーム、女子(十七校)百七十四チームが参加、西郷ソフトテニス協同主催で熱戦が展開されました。

結果は、次のとおりです。

◆男子の部

優勝 鈴木・小豆畑組(西一)
準優勝 小泉・金澤組(西二)
第三位 円谷・志田組(西二)
齋藤・鈴木組(西一)
敢闘賞 松本・佐々木組(中央)

◆女子の部

優勝 高橋・高橋組(西一)
準優勝 深谷・黒羽組(西二)
第三位 佐藤・相川組(西二)
小松・大倉組(西一)
敢闘賞 成田・君島組(西二)

さわやかな秋の空気とともに

健康づくりができた

ママさんバレーボール大会

かんぽ健康増進支援事業として(財)簡易保険加入者協会

郡山出張所主催の第二回西郷ママさんバレーボール大会が、九月三日村民体育館で開催され村内十二チームが参加しました。

成績は、次のとおり。

優勝 西郷フレンズ
準優勝 オレンジ
第三位 小田倉
上野原



▲ママさんバレーボールを楽しむ参加者たち

西郷路で八チームが激走

第三十七回西白河中学校駅伝競走大会が九月十三日、太陽の国体育館前スタート・ゴールのコースで行われました。同大会は福島県西白河中学校体育連盟の主催、西白河各市町村教育委員会が共催。

大会には男女各八校が出場し、女子は五区間十二キロで午前九時三十分スタート、

男子は六区間十八キロで同一時スタートし健脚を競いました。

さわやかな秋空が広がる絶好のコンディションの下、選手たちは沿道の声援を受けながら力走、一本のたすきをつないでひた走り、日ごろの練習の成果を発揮していました。

成績は次の通り。

【男子】

◆総合①表郷中②東中
③西郷二中④中島中

【女子】

◆総合①表郷中②東中
③矢吹中④西郷二中



▲一斉にスタートする女子選手たち

地区計画区域内は届出書が必要となります。

《都市計画課・計画係》

都市計画拡大等の事業につきまして、前回配布の「都市計画だより」の紙上にて、平成七年八月一日より施行の旨周知いたしておりましたが、「地区計画」区域（上野原地区、上新田地区、大平・大清水地区の三地区）内の、建築物の形態又は意匠、かきね又はさくの構造、土地区画形質の変更、建築物の建築、工作物の建築、工作物の用途の変更に關し提出いただく届出書につきまして下表のとおりです。

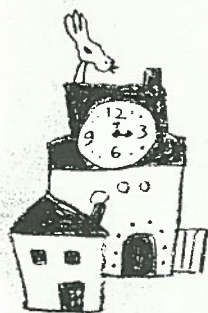
「届出書」につきましては都市計画課にあり、建築確認申請と同時に提出していただき、都市計画課において内容を審査いたします。

書式内容、添付書類等につきましては、都市計画課計画係二五一一一内線二九二までお問い合わせください。

今後とも、都市計画につきまして皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします。

地 区	上野原地区		上 新 田 地 区			大平・大清水地区		
区 分	住宅地区	工業地区	沿道サービス	沿道背後	住宅地区	低層住宅	一般住宅	幹線沿道
形態・意匠の制限	○	○	●	●	○	○	○	●
かきね又はさくの構造の制限	◎	◎				◎	◎	
土地区画形質変更	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
建築物の建築	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
工作物の建築	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
建築物の用途変更	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

- ；「建築物の外壁、屋根及び工作物の色彩は、原則として原色を避け周辺の環境と調和した落ち着いた色調又は明るい色調とする。」
- ；「建築物の外壁、屋根及び工作物の色彩は、原則として周辺の環境と調和した落ち着いた色調又は明るい色調とする。」
- ◎；「かきね又はさくを設置する場合は、原則として生け垣又は透視可能なフェンス、鉄柵等とする。」
- ☆；三地区全てにおいて提出していただきます。



悩みの苦情はまず相談
秋の行政相談週間

無料・秘密厳守

《福島行政監察事務所》

十月十五日（日）から二十一日（土）までの一週間は「行政相談週間」です。総務庁では、行政相談制度を促進するため、この一週間を「行政相談週間」として全国一斉に各種の行事を実施します。行政相談は、役所（国、県、市町村）や公園・公庫、N T T、J Rなどの仕事に關して困っていることや要望したいことについて相談に応じ、その解決のお手伝いをするものです。行政相談員は、いつも自宅で相談に応じていますが、この期間中は、次のところで行政相談所を開催いたします。

○当村担当の行政相談員は、



越前六郎さん
西郷大字小田倉字
小田倉原三七
二五一一三三六七

○行政相談所の開催日時

平成七年十月二十三日（月）
午後一時～午後四時

○行政相談所の場所

西郷村文化センター（二階）
第二研修室

「学校教育相談員」の
配置について

《西郷村教育委員会》

西郷村教育委員会では、深刻化している、いじめの問題や、登校拒否問題等の解決に資するため、教育委員会事務局に平成七年十月から、学校教育相談員を配置することになりました。

- 学校教育相談員の業務は
- 1) 村立幼、小、中学校児童、生徒の登校拒否及びいじめ問題への対策
 - 2) 学校等との連帯による指導援助
 - 3) 家庭や関係機関との連帯による活動
 - 4) 就職問題等についての相談活動（特殊教育等）等です。

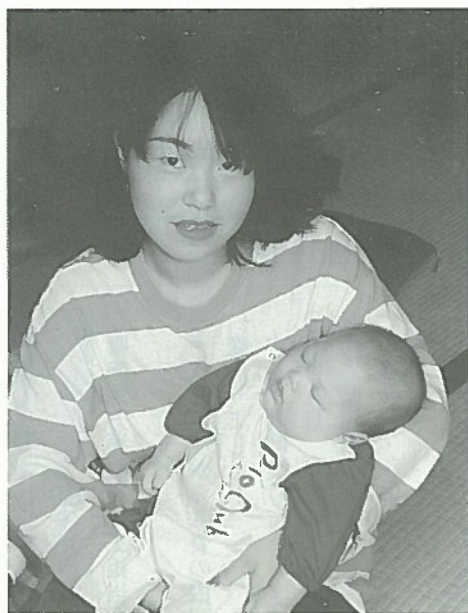
また、相談事項についての「秘密」は、固く守られることとなっており、ご活用下さるようお知らせいたします。

相談日は、毎週金曜日
相談時間は、午前九時より午後三時まで
相談場所は、西郷村文化センター 内相談室

相談方法は、来所及び電話相談となります。

電話番号 二五一一二七五五
（内線二二番）
となっております。

乳幼児のための健康カレンダー (10月・11月)



2ヶ月児教室、9月6日村文化センター

月 日	種 目	受付時間	場 所	対 象 など
10月4日(休)	2ヶ月児教室	午前10:00	村文化センター	平成7年7月生まれの乳児
5日(休)	6～7ヶ月児健康相談	◇ 9:30～10:30	◇	平成7年2・3月生まれの乳児
6日(金)	3才児健康診査	午後1:00～1:30	◇	平成4年5・6月生まれの幼児
18日(木)	3～4カ月児健康診査	◇ 1:00～1:30	白河保健所	平成7年6月生まれの乳児
27日(金)	1才6カ月児健康診査	◇ 1:00～1:30	村文化センター	平成6年2・3月生まれの幼児
11月8日(休)	2カ月児教室	午前10:00	◇	平成7年8月生まれの乳児
9日(休)	12～13カ月児健康相談	午前9:30～10:30	◇	平成6年9・10月生まれの幼児
15日(休)	3～4カ月児健康診査	午後1:00～1:30	白河保健所	平成7年7月生まれの乳児

* お酒と健康 *

医師から飲酒を禁じられても、お酒を飲まずにいられない人これは「アルコール依存症」のはじまりです。「酒は百薬の長されど万病のもと」、長年の飲酒は、胃腸、すい臓、肝臓などが侵され、潰瘍や糖尿病、肝硬変という恐ろしい病気の原因になりかねません。また、循環器系にも影響をあたえ、高血圧、脳卒中、心臓病などをひきおこします。しかし、それ以上に恐ろしいのは、体だけでなくついにはアルコールが心までも侵し、さらには脳神経を障害し、死に到らしめるアルコール依存症（いわゆるアルコール中毒）という病気です。こうなると専門的な治療が必要となります。

もし、あなたの家族やあなたのまわりにアルコール問題で悩んでいる人がいたら・・・保健所に相談することが大事です。アルコール依存症の治療には、家族やまわりの人々の暖かい理解と支えが必要です。

平成7年度

心の健康相談実施日程

◇毎月第2・第4火曜日午後1時30分から
午後3時まで

平成7年10月24日 11月14日・11月28日 12月12日・12月26日 平成8年1月9日・1月23日 2月13日・2月27日 3月12日・3月26日	※場所 白河保健所
--	------------------

◇アルコール問題についてのお問い合わせは、

白河保健所

〒961 白河市郭内127

☎(0248) 22-5441

国民年金では職業などが変わると加入のしかた(被保険者の種別)が変わります。

国民年金の被保険者は3種類にわかれており、就職や退職、結婚などにより種別が変更になります。そのため、そのたびに届け出が必要になります。



気をつけて！

種別変更届の提出をしないでいると、保険料未納の扱いとなってしまう、気づいたときには年金を受けられなくなっていたということがあります。きちんと届け出をしましょう。

●こんなとき…

サラリーマン (2号)	➡	自営業(1号)に
OL(2号)	➡	サラリーマンの妻 (3号)に
自営業(1号)	➡	サラリーマン (2号)に

被保険者種別変更届を市区町村に提出しましょう！

国民年金だより
《福祉年金課年金係》

10月の主な行事

1日 けん銃取締り特別期間（内閣官房）
リサイクル推進月間（通商産業省ほか）
全国・自然歩道を歩こう月間（環境庁）
腎移植推進月間（厚生省）
麻薬・覚せい剤撲滅運動
（～11月30日・厚生省）
共同募金運動（～12月31日・厚生省）
電波障害クリーン月間（郵政省）
郵便貯金月間（郵政省）
高年齢者雇用促進月間（労働省）
都市緑化月間（建設省）
浄化槽の日（環境庁、厚生省、建設省）
「法の日」週間（～7日・法務省、最高裁判所）

1日 全国労働衛生週間（～7日・労働省）
全国道路標識週間（～7日・建設省）
6日 国際協力の日（総理府、外務省ほか）
8日 木の日（林野庁）
10日 体育の日
目の愛護デー（厚生省）
40歳からの健康週間（～16日・厚生省）
11日 国際防災の日（建設省、消防庁）
違反建築防止週間（～17日・建設省）
16日 世界食糧デー（農林水産省）
17日 薬と健康の週間（～23日・厚生省）
18日 統計の日（総務庁）
26日 原子力の日（科学技術庁、資源エネルギー庁）

10月

（神無月）

October

商業・サービス業
近代化資金

〈県南地方振興局商工担当課〉

◇平成七年度から融資の内容が
変わりました。

申込は随時受けております。

○貸付利息 年三・二％以内

（福島県信用保証協会の保証付
の場合三・一％以内）

○貸付限度

一企業 四、〇〇〇万円以内

○貸付期間 十年以内

（一年以内の据置期間を含む・

元金均等償還）ただし、三、

〇〇〇万円未満は七年以内

○貸付対象

商業・サービス業（風俗営業
等を除く、組合・商店会等含
む）ただし、福利厚生施設に
あつては商業・サービス業以
外の中小企業を含む。

○融資の使途

①店舗等の新築または増改築資
金

②共同店舗等への入居に必要な
内装資金等

③情報処理機器の購入資金

④従業員のための福利厚生施設
資金

⑤駐車場設備資金

詳しくは県南地方振興局商工
担当課・電話二三一一五四五
までお尋ね下さい。

事業主のみなさん「労働保
険」の加入はお済みですか。

〈福島労働基準局・
県商工労働部〉

労働保険（労災保険・雇用
保険）は、労働者が労働災害や
失業等の保険事故のとき必要な
保険給付を行い、生活の安定・
社会復帰の促進・再就職の促進
等を図ることを目的とし、政府
が管理・運営をしている強制的
な保険制度で、労働者を一人でも
雇用していれば加入しなければ
なりません。事業主が故意又は
重大な過失により労災保険の
保険関係成立届を提出していな
い期間中に労働災害が生じ、労
災給付を行った場合は二年間遡
及して労働保険料を徴収される
のみならず労災保険料額の十％
を追徴金として徴収することに
なります。また、労災給付に要
した費用の一部を徴収すること
となっています。手続がお済み
でない事業主の方は最寄りの労
働基準監督署・公共職業安定所
又は労働保険事務組合におたず
ね下さい。

「源流の里づくり
ウォークラリーin
はなわ」を開催します！

〈県南地方振興局〉

同じ県南地方に住んでい
るなかまと、心のふれあい
を通してふるさとを再発見
してみませんか！

県南地方の地域リーダー、市
町村職員、県職員の地域づくり
グループ「ドリムネットワーク
12」とすばらしさを再発見す
るとともに、住民間・市町村間
の交流を進めていくために、十
一月に塙町で「源流の里づくり
ウォークラリーinはなわ」を開
催いたしますので、みなさん、
ふるって御参加ください。

なお、ウォークラリーは、
コース図（地図）にしたがつ
て、途中設定された課題を解決
しながら歩く野外ゲームで、歩
いた時間得点（速くても遅くても
ダメ）と課題得点の合計で順
位を競うもので、大人にも子供
にも簡単に楽しくできるゲーム
です。

◆日時

平成七年十一月十一日（土）

小雨決行 午前九時受付
雨天の場合は、十一月十二日
（日）に延期

◆会場

東白川郡塙町内（受付場所、

スタート、ゴールは塙小学校）
◆対象
一チーム三～五名で構成員は
自由ですが、小学生のみのチー
ムは認めません。

◆参加費

一チーム一、〇〇〇円

◆申込み方法

（当日徴収）

官製はがきに、チーム名、代
表者名、連絡先（電話番号）、
メンバー全員の住所、電話番号
氏名、年齢、職業又は学校名・
学年を記載のうえ、投函してく
ださい。

◆申込み先

千九六一 白河市昭和町二六九
福島県県南地方振興局企画振興
部

◆申込み期間

平成七年十月二日（月）～二十
日（金）必着

◆服装及び持参する物

服装は、歩きやすい服装とし、
昼食、水筒、雨具、筆記用具
（ボールペン・鉛筆等）持参し
てください。

◆表彰

優勝、準優勝。三位～六位、飛
び賞、ブービー

◆その他

詳しくは、県南地方各市町村企
画担当課、または福島県県南地
方振興局企画振興部

（電話二三一一五〇六）にお尋
ねください。

第二回「うつくしま・西郷」有線ふるさとクイズ大会

「村長賞」に添田政紀さん!! 「特別賞」に篠崎剛さん!!



▲鈴木運営委員会委員長より賞を贈呈!!

前略
虫の音美しいこの頃、皆様お変わりなく、お過ごしのことと存じます。この度は、第二回「うつくしま・西郷有線ふるさとクイズ大会」、我家で二箱おいしいじゃがいもちゃん当りびっくりしています。とても美味でおもわずニツコリしてしまいました。その思いで、ペンを走らせてしまいました。ありがとうございます。今日は、お礼にて失礼致します。

かしこ

▲「西郷ふるさと賞」当選者からお礼の葉書より～



ご応募
ありがとう
ございました

今年のお盆に行いました「

第二回「うつくしま・西郷」

有線ふるさとクイズ大会」、

村民の皆様からの多数のご応募

ありがとうございます。

今回の応募総数は二百五十二

通、全問正解が二百三十三通

で、「意見欄」にもユニーク又

は素晴らしいご意見が沢山あ

り、感謝感激胸一杯の心境で

す。誠にありがとうございます

した。

さて、皆さんお待ちかねの

「抽選会」は、九月五日「有線

放送電話運営委員会」におい

て行われ、「村長賞」に西一中

二年の添田政紀さん、「特別

賞」に羽太の篠崎剛さんが見

事当選いたしました。そして、

「村長賞」と「特別賞」は、九

月二十日「村長室」において贈

呈されました。なお、報徳鈴

薯が賞品の「西郷ふるさと賞」

は下記の方々が当選されまし

た。

「ふるさと賞」

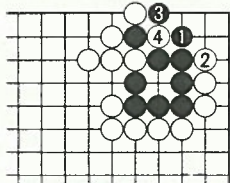
- 芳賀盛男さん(熊倉)
- 鈴木宏樹さん(柏野)
- 佐藤雅俊さん(羽太)
- 小針弥さん(米)
- 仁平隆男さん(米)
- 橋本誠さん(羽太)
- 石川則幸さん(熊倉)
- 鈴木政雄さん(小田倉)
- 江尻健次さん(小田倉)
- 柴山賢児さん(小田倉)
- 小林寛仁さん(小田倉)
- 宗像良明さん(熊倉)
- 大倉眞さん(羽太)
- 岩本裕史さん(熊倉)
- 鈴木清栄さん(羽太)
- 真船富美次さん(小田倉)
- 大高賢司さん(柏野長)
- 小山伸行さん(坂)
- 高根沢和夫さん(小田倉)
- 高根沢英雄さん(小田倉)
- 江尻末次さん(小田倉)
- 蛭田国廣さん(小田倉)
- 斎藤紘隆さん(真船)
- 松田涼子さん(米)
- 真船まさ子さん(小田倉)
- 中島博子さん(小田倉)
- 滝田幸子さん(小田倉)
- 横枕三津さん(小田倉)
- 鈴木美恵子さん(真船)

- 宗像丈子さん(熊倉)
- 大倉芳子さん(羽太)
- 金田篤子さん(鶴生)
- 今泉照美さん(鶴生)
- 大場くみ子さん(米)
- 近藤智子さん(熊倉)
- 伊藤智子さん(熊倉)
- 鈴木智子さん(小田倉)
- 斑目早苗さん(鶴生)
- 鈴木綾子さん(柏野)
- 遠藤奈緒美さん(熊倉)
- 鈴木喜美夫さん(真船)
- 陣野原さと子さん(米)
- 鈴木智恵子さん(羽太)
- 佐藤静江さん(羽太)
- 野崎律子さん(小田倉)
- 和田早知子さん(熊倉)
- 岩本淳子さん(熊倉)
- 和知清佳さん(熊倉)
- 星多津子さん(熊倉)
- 長谷川米子さん(熊倉)

今月の納税

村県民税(普通徴収) 第3期分
国民健康保険税 第4期分

11ページの解答



〈詰碁正解〉黒1のカケツギがねばりの受け、白2のハネには黒3とコウにはじきます。

〈詰碁正解〉2三角成、同呑、3一角、同金、1四呑、2二玉、3一飛成、同玉、3二金まで9手詰め。

〈解説〉2三角成は当然の着手ですが、次の3一角が素晴らしい好打。発見したときは気分よかったでしょう。初手2四角、同呑、2三角成は同玉、2一飛成、3三玉で詰まず。また2三角成、同呑、1四呑、2二玉、4二飛成は1一玉で詰まず。

善意をありがとうございます。
「」ございます。

◎村に寄付された方々をご紹介します。

◆連合福島県南地域連合会

【下新田】

(八月二十二日、緑のカンパ国体軟式野球会場の植栽のため)

七〇〇、〇〇〇円



▲菊地村長に寄付金を手渡す吉田県南連合議長

◎西郷村社会福祉協議会に寄付された方々をご紹介します。

▼(株)ヤクルト本社【東京都】
(九月七日、ヤクルト販売六〇周年を記念して)

二二〇、〇〇〇円

誌上天然色作品展

図画

赤ピーマンの構成

西郷第二中学校二年 高橋江美



美術科担任の先生から一言

安藤有理江先生

赤ピーマンの種がはじけて飛び散る様子が表れています。曲線と明るい調子の配色でやわらかい感じがしますが、アクセントをつけバランス良い構成です。



詩

戦争と命



西郷第二中学校三年

白井紀子

忘れないであの悲劇を
たくさん命が戦争で
アウシュヴィッツで
世界中で奪われていった
忘れてはいけない
二度と起こしてはならない
罪もない人々の命を奪う戦争を
生まれた者の命はすべて尊い
人間は何か使命をもって生まれる
しかし、それは死ぬことではない
生きて 生き抜いて
人生を完結しなければ……
もし、一握りの者の
欲望のために奪われるのなら
それは、許されない事
生きるこの意味
生命の尊さ
もう一度かみしめたい
忘れないであの悲劇を

国語科担任の先生から一言

坂路道子先生

戦後五十年のこの夏、戦争と命の尊さを考えさせられることが多く平和への訴えが強く感じられます。

身近な花をたずねて ③

ア ス タ ー

村内での取材途中、たわわに実った黄金色の稲穂のそばの花畑に、色鮮やかに咲くアスターを見つけました。

この花は、花もちがよいので切り花として、秋の彼岸に、仏壇やお墓を飾る花として多く利用されています。

(撮影・平成7年9月11日、折口地内)



編集後記

取材のためカメラ片手に色々な行事の場に出かけて行きますが、広報係以前は防災交通係として災害や火災、遭難といった場面での村民の方々とかかわり合いが多く、つい最近までお祭りや運動会などでカメラを構えていると、「何かあったの」、「何でここに」とよく不思議がられ場違い的な言葉が返ってきました。最近ようやく村民の皆さんに、「今度部落でこんな催しがありますから来て下さい。」とか、取材していると「今度、村だよりに出るの」、「毎回楽しく拝見しています。」などと、村だより担当の広報係として声をかけていただくようになりました。広報係としても人々との出会いや、少しずつ広がる村民の皆さんとのつながりは、大切にしていきたいと思っています。

【円谷】